

令和 2 年度圏域の事業計画・収支計画

(南部地区)

(守山学区
小津学区)

守山市地域包括支援センター

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和2年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務		
基幹からの重点事項	南部地区における地域の相談拠点となるよう広く住民にセンターの周知・啓発を行うとともに、住民がより身近な場所で相談できるような取組を検討すること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。			
事業内容	令和2年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 地域におけるネットワーク構築	担当地域の民生委員・児童委員、生活支援コーディネーター、関係機関等と信頼のおける関係を作り、ネットワークの構築、および整備を行う。		○	
	インフォーマルサービス等の社会資源の把握に努めると共に、新たなインフォーマルサービスの資源の開発に取り組む。			○
2 高齢者の実態把握	南部地区の高齢者が通う商店等に対して南部包括の周知を図り、支援が必要と思われる高齢者等についての情報を得る。		○	
	オートロック付きのマンションが多く、マンション内に入れないため、管理人に対して日頃からの相談窓口として、南部包括の周知を行い、支援の必要な高齢者等についての情報を得る。		○	
3 相談窓口機能	初期におけるアセスメントを適切に行い、早期に対応する。課題整理および方向性を検討した上で適切な機関、制度、サービス等につなげる。また、家族全体の総合的な相談についても、情報を整理し関係機関との連携を密に行い対応する。	○		
	相談内容については、3職種で共有し、緊急時には、担当者不在でも速やかに対応できる体制を整え対応する。	○		
4 専門的な相談支援	困難事例を把握したときは、3職種で連携し対応方法を検討する。必要に応じて基幹型、関係課職員との連携を図り適切に対応する。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	民生委員・児童委員からの相談もあるが、マンション管理人や駅付近の商業施設に南部包括の広報をし、相談を受けたり、口コミで広がり、マンションの高齢者世帯、一人暮らし世帯等からの相談も増えている。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	南部地区の地域特性を活かしたネットワーク構築を図る中、地域住民が身近な場所で相談ができる体制づくりができている。今後も新たな地域資源の把握・開発に取り組んでいきたい。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和 2 年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、基幹型と連携するなか早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和 2 年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 高齢者虐待への対応	民生委員・児童委員、地域住民や関係機関との連携を密にし、高齢者虐待の予防にかかる啓発や通報窓口の周知を行い、早期発見及び虐待防止に努める。			○
	通報を受理した時は、虐待支援マニュアルに基づき基幹型に報告し、迅速に対応する。必要に応じて高齢者虐待対応支援ネットワークを活用し、高齢者への支援方法を検討する。		○	
2 成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度等を高齢者が適時活用できるよう、関係機関や住民への周知啓発を行う。			○
	認知症などにより判断能力の低下がみられる対象者においては、成年後見制度を適時活用できるよう支援する。任意後見制度利用も必要に応じて支援する。		○	
3 消費者被害の防止	関係機関や消費生活相談員等と連携を図り、消費者被害の状況、内容などについて把握する。	○		
	サロンや訪問時に消費者被害の有無等の情報を収集する。また、消費生活センターや警察等からの情報を発信し、注意喚起を行う。	○		
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	高齢者虐待の啓発は、サロン等の場がコロナ禍でほぼなくできなかったが、通報時は迅速に対応できた。消費生活センターと連携し、解決したケースもあり、コロナ禍の被害報道も多かったため、消費生活センターのチラシ、啓発物品などの配布等に力をいれた。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	虐待通報への初動において、基幹型との連携を図りながら迅速に対応できた。また、消費者被害の防止のため、消費者被害の周知啓発、高齢者に対する個別支援ができていた。今後も関係機関と連携を図りながら、高齢者の権利擁護のための諸制度の活用を支援していただきたい。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和2年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう介護支援専門員の活動を支援する。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。			
事業内容	令和2年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援	地域の主任介護支援専門員と共に介護支援専門員が抱える困難事例について、具体的な支援方法を検討し指導助言等を行う。	○		
	個々の困難事例の抱える問題点を整理し、地域の課題として解決策を検討する。		○	
2 包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	介護支援専門員からの相談内容から課題を抽出し、解決策を検討する。		○	
	地域の高齢者の活動に関する団体、内容を把握し介護保険以外の社会資源の活用推進を図る。		○	
3 地域におけるネットワーク構築	介護支援専門員が抱える個別の問題や課題を明らかにし、地域におけるネットワークの中での取組として提案していく。		○	
	地域で抱える課題解決に向けて、実践力向上のための研修会や事例検討会を行う。	○		
4 その他	各学区の公民館学級（通年実施）のカリキュラムに入れてもらい、年1回介護予防講座を実施する。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	介護支援専門員からの支援困難ケースについては、地域ケア個別会議やカンファレンスを行い、関係機関との連携のもと支援を行った。地域課題は見えているが、地域課題の整理まではできていない。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	介護支援専門員からの相談に対して助言や支援を行うことができた。今後も南部地区の地域特性を把握し、健康課題を整理するなか、南部地区の実情にあわせたネットワークの整備・構築を進めていただきたい。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和2年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業		
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。自治会等における在宅医療・介護連携についての出前講座開催を積極的に働きかけること。			
事業内容	令和2年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	病院からの退院時等、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、在宅療養、看取りの推進に取り組む。	○		
	南部地区で、市民への啓発講座を開催し、多くの人に在宅医療や介護に対する理解を深める。また、在宅医療・介護の出前講座が未実施の地域へ積極的にアプローチし普及啓発する。		○	
2 在宅医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療・介護連携サポートセンターやその他関係機関等との連携を行い、家族が不安なく自宅で介護できる体制を整える。		○	
	在宅医療・介護連携サポートセンターと連携し在宅医療・介護に対して、気軽にいつでも相談できる体制整備を行う。		○	
3 在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	在宅医療・介護連携サポートセンター、介護支援専門員、事業所、医療機関等との連携を密に行い、在宅医療・介護の推進を図る。	○		
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	在宅医療・介護連携サポートセンター、関係機関と連携し、在宅看取りのケース支援を行った。本人、家族に寄り添った支援が行えた。病院連携室との連携を日常的に行い、退院時支援を行った。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	事例への支援を通じて病院の地域連携室や在宅医療・介護連携サポートセンター等、関係機関と連携することができた。今後も出前講座等で地域に出向き、“在宅医療・介護”“在宅看取り”に関する周知啓発をお願いしたい。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和2年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症の人やその介護者等が地域で安心して暮らせるよう、正しい知識の普及啓発を図ること。認知症初期集中チームとの連携を図り、認知症の早期発見・早期対応に努めること。また、介護者の負担軽減のための取組を進め、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録について周知啓発を行い、必要な人の登録に向けて関係機関とともに進めていくこと。			
事業内容	令和2年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 認知症に関する正しい知識の普及啓発	南部包括において、随時「もの忘れ相談」を実施する。また、地域に出向いての「出張もの忘れ相談」について検討する。	○		
	認知症サポーター養成講座を南部包括での開催や地域に出向き実施し、正しい知識の普及啓発を行う。未実施の地域への講座開催の啓発を行う。		○	
2 認知症初期集中支援の推進	初期集中支援チームと連携し、早期から認知症の人に関わり必要な医療や適切なサービスにつなぐことにより重症化の予防に努める。		○	
	認知症による行方不明高齢者への早急な訪問活動、関係機関との連携による対応を実施する。発見後も継続的な支援を行う。	○		
3 認知症の人やその家族への支援	認知症の人やその介護者が集い、介護負担の軽減や悩みの解消ができる居場所づくりを地域に推進する。南部包括ではオレンジカフェ「お結びカフェ」を実施する。（毎月1回）			○
	「もの忘れ相談プログラム」を活用し、認知症の早期発見・早期治療・早期支援につなげる。		○	
4 その他	行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録を推進する。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	もの忘れ相談を随時受付していることをPRしたことで気軽に来所され、不安軽減や早期発見につながった。SOS事前登録の推進は力を入れた。オレンジカフェはコロナ禍で一度も開催できなかったため、夏頃までは参加者に毎月電話連絡を行った。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	コロナ禍でオレンジカフェが中止となったが、代替手段を活用するなかで継続して参加者とながり、相談支援に努めることができた。今後も引き続き、認知症の人の早期発見・早期支援等への取組強化をお願いしたい。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和 2 年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業		
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、南部地区の実情に応じた取組、資源開発、政策提言など、課題の抽出を行うこと。			
事業内容	令和 2 年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域ケア 会議の開催	南部包括のケースを、地域ケア個別会議に上げ、地域の課題を抽出し、地域住民、関係機関とともに問題解決に向けて取り組む。		○	
2 資源開発 および政策提 言	地域ケア個別会議での検討事項や解決困難な事例における問題点を整理し、地域ケア推進会議などで政策提言を行う。		○	
	地域における課題に対して、地域住民主体の活動の推進を支援する。			○
3 その他				
圏域の 自己評価	事業全体についての総括			
	市の地域ケア個別会議にて助言を受け、支援困難ケースの対応に当たった。南部包括で複数の課題を抱えるケースの地域ケア個別会議を実施、関係機関参加のもと課題整理と支援の役割分担を行った。			
基幹からの 評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	地域ケア個別会議を通して、支援困難ケースの課題解決に向けて進展が得られ、関係者間のネットワーク構築を図ることができた。今後も南部包括主催の地域ケア個別会議を積極的に進めていただきたい。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和 2 年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	任意事業	家族介護支援事業		
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等を開催するなど必要な事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、南部地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。また、認知症家族介護者訪問等を活用し、介護の実態把握を行い、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。			
事業内容	令和 2 年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 家族介護者支援事業	家族介護者教室を 5 回シリーズで実施する。 男性介護者への参加呼びかけを強化する。	○		
	幅広い世代が参加できる教室を開催し、地域の介護意識の向上を図る。（親子介護教室等）			○
2 家族介護者訪問	認知症家族介護者訪問を適宜実施し、介護の実態把握を行い、介護負担の軽減につなげる。	○		
3 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	家族介護者教室はコロナ対策を徹底して実施した。制限のある中での実施だったが定員（半数）いっぱいの参加があった。親子介護教室や交通安全教室など企画したがコロナ禍で実施できなかった。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	感染症対策に留意しながら、家族介護者教室や認知症家族介護者訪問を実施することができた。今後も南部地区の実情や地域課題にあわせた事業の企画・運営をお願いしたい。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和２年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防ケアマネジメント		
基幹からの重点事項	高齢者のフレイル（虚弱）予防のための取組を進め、自費サービス、サービス未導入者など介護保険による給付を伴わない介護予防マネジメントを必要に応じて行い、地域において自立した生活を送ることができるよう支援すること。			
事業内容	令和２年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
１ 自立支援・重度化防止等への取組	介護予防手帳を活用し、フレイル予防の出前講座を実施する。	○		
２ 自費サービス利用者、サービス未導入者等への支援	継続的にモニタリングを行い、必要に応じてフォーマル・インフォーマルサービスにつなげる。		○	
３ 介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定の公平性・中立性の確保	基幹型包括と情報共有しながら、公平・中立な事業所選定を行う。	○		
４ その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	コロナの影響により開催中止が多い中、感染症対策のもと開催されるときには、閉じこもりがちな時期に活かせるよう介護予防の啓発に努めた。希望者には、地域の自主教室などインフォーマルサービスの紹介を行った。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	コロナ禍において外出が自粛される中、あらゆる機会を活用して介護予防の啓発を実施できた。今後も地域包括ネットワークを構築する中、閉じこもりがちな高齢者や支援が必要な高齢者の早期発見・早期介入に努めていただきたい。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和2年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域での通いの場の状況について把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。守山百歳体操や守山健康のび体操の活用等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、家族や友人等と身近な地域で取り組むことができる介護予防活動の展開を行うこと。			
事業内容	令和2年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 介護予防把握事業	地域における介護予防の取組の実態を把握し、資源の見える化（リスト化等）を推進する。			○
2 介護予防普及啓発事業	介護予防教室を実施し、各地域の中で活動の輪が広がるように支援する。	○		
	守山百歳体操未実施の地域に向けて、普及活用を推進する。			○
3 地域介護予防活動支援事業	高齢者の居場所・介護予防活動支援の拠点となるような取組を推進する。			○
	小津学区での単発の介護予防事業の開催を検討する。	○		
4 地域リハビリテーション活動支援事業	守山健康のび体操を、基幹型包括と連携し推進する。		○	
4 その他	各会館で実施している教室において、介護予防講座を1回以上行う。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	感染対策を徹底し、定員を半数にして実施した介護予防教室は、終了後、地域の百歳体操に半分以上の参加者をつなげた。守山・小津会館では、会館主催の教室のプログラムに加えてもらい介護予防教室を1回ずつ実施した。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	コロナ禍において感染症対策に留意しながら、地区会館等と連携し介護予防活動を行うことができた。また、高齢者の継続的な介護予防を支援するため、地域の自主グループへの参加につなげることができた。今後も高齢者の居場所・介護予防活動の拠点となるよう取組を推進していただきたい。
	○			